

# 地理歴史(世界史・日本史)〔問題〕

(100点・90分)

## 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見たり、裏返したりしてはいけません。
2. 出題科目は、世界史(2～39ページ)・日本史(40～69ページ)です。どちらか1科目を選択しなさい。
3. この問題冊子は69ページあり、解答用紙は1枚(両面)です。  
試験中に問題冊子・解答用紙の印刷不鮮明、ページの落丁などに気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. 試験開始後、ただちに解答用紙の所定の記入欄に、氏名・受験番号・誕生月日をそれぞれ正しく記入し、さらに受験番号・誕生月日をその下のマーク欄にマークしなさい。また、選択科目欄には、選択する科目をマークしなさい。マークと異なる科目を解答したり、両科目を解答した場合は判定対象となりません。
5. 受験番号・誕生月日が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。
6. 解答は、解答用紙の解答欄に各設問で指示された方法で記入しなさい。  
例えば、

|    |
|----|
| 20 |
|----|

と表示のある問いに対して②と解答する場合は、次の(例)のように解答番号20の解答欄の②にマークしなさい。

(例)

| 解答番号 | 解 答 欄             |
|------|-------------------|
| 20   | ① ● ③ ④ . . . . . |

7. 問題冊子の余白等は、下書きなどに適宜利用してよいが、各設問で指示された解答は、必ず解答用紙の解答欄に指示された方法で記入しなさい。
8. 試験終了後、提出は解答用紙のみとし、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 世界史

**第1問** セイロン島（現スリランカ）に関して述べた次の文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

前3世紀、<sup>(a)</sup>マウリヤ朝のアショーカ王がセイロン島に王子マヒンダを派遣して仏教を伝えたことはよく知られている。当時セイロン島にはシンハラ王国があった。この国はアーリヤ系（インド=ヨーロッパ語族）のシンハラ人が建国したもので、マヒンダ来訪以来、仏教を維持し続けた。この時伝来した上座部仏教は、やがてここから東南アジアの大陸部（インドシナ半島）に伝えられることになった。現在<sup>(b)</sup>ミャンマー、タイ、カンボジアでは上座部仏教が盛んであるが、これは以上の経緯で伝わったものである。インド亜大陸の南東部に位置するセイロン島はインド洋の海上交易に絶好の位置を占め、シナモン（肉桂）など香辛料の産地でもあって、港市国家として栄えた。1世紀にギリシア人が著した『エリュトゥラー海案内記』には<sup>(c)</sup>ローマとインドとの交易の繁栄ぶりが記されている。この「エリュトゥラー海」は紅海を指す語であるが、広くインド洋全体の季節風貿易について述べられている。同じ頃、海上交易路は中国に連なるルートも開かれており、<sup>(d)</sup>地中海、アラビア海、インド洋、マラッカ海峡、南シナ海はつながっていた。セイロン島はちょうどその中間に位置していたのである。南インドにはドラヴィダ語族のタミル人の<sup>(e)</sup>チョーラ朝やパーンディヤ朝があり、セイロン島との接触を長く続け、島に移住するタミル人も現れた。後述するように20世紀後半には、このタミル人とシンハラ人のあいだで抗争が繰り返されるようになる。

海上交易は、8世紀頃からムスリム商人の活動が顕著となったことや、10世紀に<sup>(f)</sup>宋が成立して以降中国商人も参入したことでいっそう活況を呈し、13世紀に出現したモンゴル帝国はその動きをさらに大規模化させた。14世紀に元（モンゴル）から明への移行期の混乱でいったん衰えた海上交易であるが、15世紀に明の永楽帝の命を受けた鄭和の南海大遠征がおこなわれると、南シナ海、インド洋全域にまたがる大交易時代が始まった。さらに15世紀末以降、<sup>(g)</sup>ポルトガルがこの交易網に入り込む形で参入した。セイロン島はポルトガルが支配を及ぼし、17世紀半ばにはオランダの植民地とされた。オランダは同世紀に世界商

業の中心としての地位を獲得するが、セイロン島はジャワ島のバタヴィアやケープ植民地と並んで重要な拠点となった。

⑧ ナポレオン戦争中、セイロン島と⑨ ケープ植民地はイギリスに占領され、1815年のウィーン会議でどちらもイギリス領となった。イギリスは19世紀中にセイロン島で茶の栽培に成功し、やがて茶はセイロン島の主要農産物となり、現在のスリランカでも最大の農産物輸出品となっている。日本でも「セイロン紅茶」の名は広く浸透している。第二次世界大戦中は日本とイギリスの海軍によるセイロン沖海戦がおこなわれたことは意外に知られていない。戦後の1948年、前年のインド・パキスタンの独立に続いて、セイロン島は「セイロン」の国名で、イギリス連邦内の自治領として独立した。のち⑩ 1972年、憲法を改正してイギリス連邦内の共和国となり、国名をスリランカと改めた。この国のもともと名はシンハラ王国、すなわちシンハラ・ディーパ（「獅子の国」の意）であった。これをムスリム商人が「セランディーブ」、ポルトガル人が「セイラーン」と呼び、これを受けてイギリス人は「Ceylon」と綴<sup>つづ</sup>って「スイラン」もしくは「セイロン」と呼ぶようになった。セイロン政府は憲法改正当時の現地での呼称に従って「スリランカ」と改めたのである。

20世紀後半から21世紀初頭にかけて、前述した通り、この地では激しい民族紛争があった。スリランカ人口の多数派はシンハラ人であり、彼らはアーリヤ系の仏教徒である。一方、少数派であるタミル人はドラヴィダ系のヒンドゥー教徒であり、1970年代にスリランカ北部・東部に独立国家を建設することを目標にして「タミル・イーラム解放の虎」という組織を結成した。「イーラム」とはスリランカを表すタミル語で、それを「解放」する「虎」というのは、シンハラ王国の「獅子（ライオン）」への対抗である。彼らのテロ活動と、それを徹底的に弾圧する政権との争いが凄惨をきわめたが、2009年に政府が勝利して終息した。

問 1 下線部④について述べたものとして正しい文章を、次の①～④から一つ選べ。

1

- ① カーリダーサによる戯曲が生み出された。
- ② 史上はじめて仏像が作製された。
- ③ 社会倫理・道徳を説いた勅令が各地で明示された。
- ④ インダス文字を刻んだ印章を使用した。

問 2 下線部⑥について述べた次の X・Y・Z の文章の正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。

2

X：ミャンマーではシャイレンドラ朝が成立した。

Y：タイでは漢字をもとにチュノム（チューノム、字喃）と呼ばれる文字がつくられた。

Z：カンボジアでは寺院遺跡であるボロブドゥールが造営された。

- ① X－正      Y－正      Z－正
- ② X－正      Y－正      Z－誤
- ③ X－正      Y－誤      Z－誤
- ④ X－誤      Y－正      Z－正
- ⑤ X－誤      Y－誤      Z－正
- ⑥ X－誤      Y－誤      Z－誤

問3 下線部㉔で起こった出来事を時系列に沿って古いものから並べたとき、正しい組合せを次の①～⑥から一つ選べ。 3

- ① スパルタクスの反乱 → 軍人皇帝時代の開始 → ネロ帝によるキリスト教徒迫害
- ② スパルタクスの反乱 → ネロ帝によるキリスト教徒迫害 → 軍人皇帝時代の開始
- ③ ネロ帝によるキリスト教徒迫害 → スパルタクスの反乱 → 軍人皇帝時代の開始
- ④ ネロ帝によるキリスト教徒迫害 → 軍人皇帝時代の開始 → スパルタクスの反乱
- ⑤ 軍人皇帝時代の開始 → ネロ帝によるキリスト教徒迫害 → スパルタクスの反乱
- ⑥ 軍人皇帝時代の開始 → スパルタクスの反乱 → ネロ帝によるキリスト教徒迫害

問4 下線部㉔について述べた次の文章中のXとYの正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。 4

【[X：前1世紀]にエジプトを征服したローマは、以後数世紀にわたって地中海沿岸の全域を支配したが、800年頃になると、地中海沿岸地域はフランク王国を中心とする西ヨーロッパ世界、[Y：ササン朝]を中心とする東ヨーロッパ世界、イスラーム世界の3つにわかれていた。】

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ① X — 正      Y — 正 | ② X — 正      Y — 誤 |
| ③ X — 誤      Y — 正 | ④ X — 誤      Y — 誤 |

問 5 下線部㉔について述べた次の文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを、  
下の①～④から一つ選べ。 5

【10 ～ 11 世紀に最盛期を迎えたチョーラ朝はセイロン島や〔X：東南アジア〕へ軍事遠征をおこなったほか、〔Y：宋（北宋）〕へ使節を送ったりもした。】

- |   |       |       |   |       |       |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

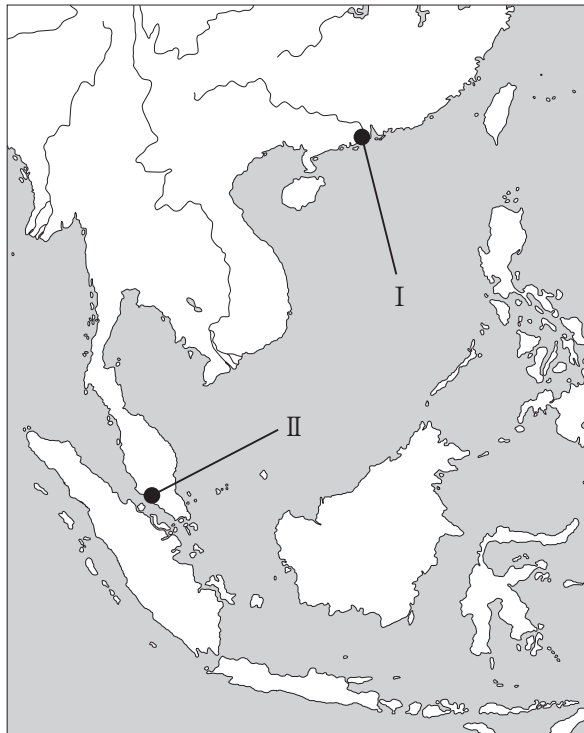
問 6 下線部㉕に関連して、北宋・南宋について述べたものとして正しい文章を、  
次の①～④から一つ選べ。 6

- ① 北宋では韓愈や柳宗元が古文の復興を唱えた。
- ② 北宋時代の都市の繁栄の様子は「清明上河図」に描かれている。
- ③ 南宋では軍事・社会制度として猛安・謀克がおこなわれた。
- ④ 南宋の政権は銅銭を大量に発行し、紙幣の使用を禁じた。

問7 下線部⑧に関連して、ポルトガルが交易の拠点とした地図上のⅠ，Ⅱそれぞれの名称について正しい組合せを，次の①～⑥から一つ選べ。

7

- ① Ⅰ－マニラ                      Ⅱ－マラッカ
- ② Ⅰ－マニラ                      Ⅱ－チャンパー
- ③ Ⅰ－マニラ                      Ⅱ－マタラム
- ④ Ⅰ－マカオ                      Ⅱ－マラッカ
- ⑤ Ⅰ－マカオ                      Ⅱ－チャンパー
- ⑥ Ⅰ－マカオ                      Ⅱ－マタラム



16 世紀の東南アジア

問 8 下線部①に支配されたスペインの市民がフランス軍に殺害される場面を描いた絵画「1808 年 5 月 3 日」の作者として正しいものを，次の①～④から一つ選べ。

8

- ① モネ      ② ドラクロワ      ③ ゴヤ      ④ ミレー

問 9 下線部①がイギリス領になったために起こったことについて述べた次の文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを，下の①～④から一つ選べ。

9

【ケープ植民地を形成していたオランダ人の子孫である [X：ブール人] は北部へ移動して [Y：アンゴラ] などの国を建てていたが，イギリスは南アフリカ戦争を起こしてこれらを併合した。】

- ① X — 正      Y — 正      ② X — 正      Y — 誤  
③ X — 誤      Y — 正      ④ X — 誤      Y — 誤

問10 下線部①の年およびその前後にアメリカ大統領ニクソンがおこなったことについて述べた次のX・Y・Zの文章の正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。

10

X：北ベトナムへの爆撃を開始した。

Y：アメリカの通貨ドルと金との兌換を停止した。

Z：中国を訪問し、毛沢東と会談した。

- |   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | Z — 正 |
| ② | X — 正 | Y — 正 | Z — 誤 |
| ③ | X — 正 | Y — 誤 | Z — 誤 |
| ④ | X — 誤 | Y — 正 | Z — 正 |
| ⑤ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 正 |
| ⑥ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 誤 |

**第2問** イスラーム世界で活躍した人々に関して述べた次の[A]～[C]の文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

[A] 9世紀前半、アッバース朝において数学・天文学分野で活躍したフワーリズミーは、インド数学をもとにアラビア数学を確立した。その著書『ジャブル・ムカーバラ計算の抜粋の書』は代数学に関する解説書であり、そのラテン語訳は、アラビア語の定冠詞である「al」とともに『algebra』との表題がつけられた。この algebra が代数学を表す英単語となった。またインドの計算法を紹介したことから、「計算法」から転じて「計算の手順」を意味する「アルゴリズム」という語も生まれた。これは彼の本名の最後の部分「アル=フワーリズミー」から生じた。なお彼はアッバース朝第7代カリフであるマームーンに仕えたが、この人物は、アッバース朝の最盛期を現出した第5代カリフである I の子であり、トルコ系奴隷軍人である II に身辺警護と政務の処理をまかせ、次のカリフであるムウタスィムにも II 軍隊の編制を指示したとされる。また <sup>a</sup>ギリシア語文献を <sup>b</sup>アラビア語に翻訳・研究する機関である「知恵の館（バイト=アルヒクマ）」を設立したことでも知られる。

問1 文章中の空欄部 I ・ II に入る語句として正しい組合せを、次の①～④から一つ選べ。 11

- |                    |            |
|--------------------|------------|
| ① I — トゥグリル=ベク     | II — マムルーク |
| ② I — トゥグリル=ベク     | II — アミール  |
| ③ I — ハールーン=アッラシード | II — マムルーク |
| ④ I — ハールーン=アッラシード | II — アミール  |

問2 下線部④に関連して、古代ギリシア・ローマにおいて文化面で活躍したギリシア人について述べたものとして正しい文章を、次の①～⑥から一つ選べ。

12

- ① ホメロスは自然哲学を開いた。
- ② アISKYロスは悲劇の作品を残した。
- ③ プラトンはペルシア戦争史を記した。
- ④ アルキメデスはストア派哲学を開いた。
- ⑤ プルタルコスは『アエネイス』を著した。
- ⑥ プトレマイオスは地動説を唱えた。

問3 下線部①に関連して、アラビア語に翻訳されたギリシア語文献はイスラーム世界で研究され、その業績はラテン語に翻訳されてヨーロッパに伝わった。このことについて述べた次の文章中のXとYの正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。

13

【アラビア語からラテン語への翻訳はイベリア半島中央部の〔X：グラナダ〕などで盛んにおこなわれた。なかでもアリストテレス哲学研究の翻訳は、トマス=アクィナスの著書〔Y：『神学大全』〕に大きな影響を与えた。】

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

[B] ③ イランの天文学者・数学者・詩人であるウマル=ハイヤームは④ セル  
ジューク朝のマリク=シャーに仕え、精密な⑤ 太陽暦であるジャラーリー暦の作  
製に寄与した。また彼は『四行詩集（ルバイヤート）』の作者としても知られる。  
この作品は無神論的で反イスラームの要素を含むために、ペルシア文学のなかで  
特異な地位を占めているが、19世紀にイギリス人によって英訳されて以来、世  
界的に有名になった。なお彼が仕えたマリク=シャーは、宰相にニザーム=アルム  
ルクを登用し、統治体制を確立してセルジューク朝の最盛期を現出した。

問4 下線部③とイスラームとの関わりについて述べた次の文章中のXとYの正誤  
について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。 14

【イスラーム勢力は[X：正統カリフ時代]にササン朝を破り、イランを征服した。ウマイヤ朝時代になると、イスラーム教に改宗したイラン人から差別待遇に対する反発が起こり、このことがアッバース朝の成立に影響を与えた。10世紀にイランでおこったブワイフ朝はアッバース朝を圧迫し、[Y：カリフの地位]を得た。】

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問5 下線部④について述べた次のXとYの文章の正誤について正しい組合せを、  
下の①～④から一つ選べ。 15

X：アッバース朝の都であるクテシフォンに入城した。

Y：シーア派のイスラーム教を国教とした。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問 6 下線部㉔について述べた次の X・Y・Z の文章の正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。

X：古代メソポタミアで生み出された。

Y：カエサルによってローマに導入され、ユリウス暦と呼ばれた。

Z：現在世界で用いられている太陽暦はグレゴリウス暦である。

- |   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | Z — 正 |
| ② | X — 正 | Y — 正 | Z — 誤 |
| ③ | X — 正 | Y — 誤 | Z — 誤 |
| ④ | X — 誤 | Y — 正 | Z — 正 |
| ⑤ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 正 |
| ⑥ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 誤 |

[C] ティムールの子孫であるバーブルは、<sup>①</sup>ティムール朝が遊牧ウズベクに滅ぼされたあと、<sup>②</sup>サファヴィー朝の支援を受けながらウズベクに反抗していたが、ある時点から北インド進出へ方向転換した。そして 1526 年、デリー=スルタン朝の最後となる Ⅲ 朝を破り、<sup>③</sup>ムガル帝国を樹立した。この「ムガル」という言葉は、モンゴルを意味する語句であり、実際のところバーブルは母方からチンギス=ハンの血を引いていた。彼は文武の才能に恵まれ、最新の武器を導入して戦場で戦う一方、回想録『バーブル=ナーマ』を残した。この書はトルコ語（チャガタイ=トルコ語）文学史上きわめて価値の高い作品とされている。

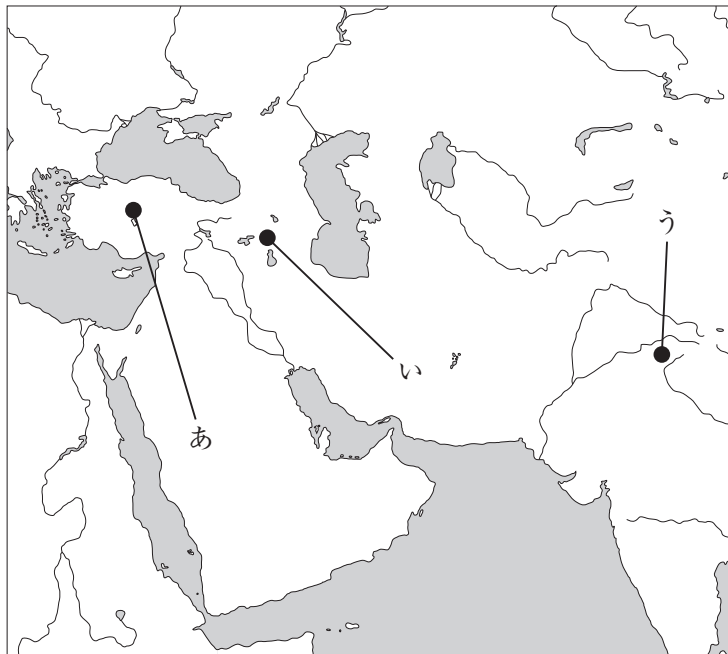
問 7 文章中の空欄部 Ⅲ に入る語句として正しいものを、次の①～④から一つ選べ。 17

- ① ロディー      ② サイイド      ③ ハルジー      ④ トウグルク

問 8 下線部①が1402年にオスマン帝国のスルタンを破って捕虜にした戦いの場の名（Ⅰ）と，その地図上の位置（Ⅱ）について正しい組合せを，次の①～⑥から一つ選べ。

18

- |   |             |       |
|---|-------------|-------|
| ① | Ⅰ — チャルディラン | Ⅱ — あ |
| ② | Ⅰ — チャルディラン | Ⅱ — い |
| ③ | Ⅰ — アンカラ    | Ⅱ — う |
| ④ | Ⅰ — アンカラ    | Ⅱ — あ |
| ⑤ | Ⅰ — パーニーパット | Ⅱ — い |
| ⑥ | Ⅰ — パーニーパット | Ⅱ — う |



15 世紀の西アジア

問 9 下線部⑧について述べたものとして正しい文章を、次の①～⑥から一つ選べ。

19

- ① 神秘主義教団の教主によって建国された。
- ② 領土を直轄領と藩部に分け、藩部を理藩院が統括した。
- ③ 騎士に徴税権を与えて軍役を課すティマール制をおこなった。
- ④ スンナ派の学者を養成するための学院（マドラサ）を各地に建設した。
- ⑤ 里甲制を施行して、農村支配を徹底させた。
- ⑥ 人頭税（ジズヤ）を廃止してヒンドゥー教徒との融和をはかった。

問10 下線部⑨について述べた次の文章中のXとYの正誤について正しい組合せを、  
下の①～④から一つ選べ。

20

【ムガル帝国では〔X：ペルシア語〕が公用語とされ、イラン方面からの移民がもたらしたイスラーム文化とインド文化が融合してインド＝イスラーム文化が発達した。イラン伝来の〔Y：細密画（ミニアチュール）〕がムガル絵画に発展し、建築ではタージ＝マハルが生み出された。】

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

**第3問** 地名の由来に関して述べた次の文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

地名がどのように決まっていたのかを追うと、思わぬ発見に出会う場合が多い。「インド」という地名をとりあげてみる。これを聞いて想起されるのは、ユーラシア大陸中央部の南端に位置する逆三角形の半島かと思われるが、アメリカ大陸中央部のカリブ海の島々を西インド諸島といたり、アメリカの先住民をインディアン、インディオ、すなわちインド人と呼んだりしている。これはもちろん、アメリカ大陸に到達した<sup>(a)</sup>イタリア人の<sup>(b)</sup>コロンブスが、インドに到達したと思い込んだことに起因する。一方、東南アジアの大陸部の半島をインドシナ半島といい、ここにもインドが登場する。これは19世紀はじめにヨーロッパ人が、インドと中国（シナ）のあいだの地という意味で名づけたものである。そもそもヨーロッパ人とインドとの最初の出会いは、アレクサンドロス大王の東方遠征にある（おおまかに考えてアレクサンドロスを「ヨーロッパ人」の範疇に入れるとしての話だが）。インダス川流域へ到達した彼は、サンスクリット語で「境の川」を意味するシンドウ（shindu）にちなんでその川をインダス（Indus）と呼んだ。これ以降、川の向こうの地全体がインドと考えられるようになった。そのうちインドの地のなかから中国や日本などの国が識別されていったが、東南アジアは相変わらずインドの延長でしかなかった。インドシナという名が与えられてそれは固有の地として認識されるようになった。さらに1887年にフランスが<sup>(c)</sup>フランス領インドシナ連邦を形成したことで国際的認知度が大きく上昇した。フランス領となったのは現在のベトナム、カンボジア、ラオスであったが、インドシナ半島には他にタイとミャンマーが含まれる。一方、東南アジアの諸島部は現在<sup>(d)</sup>インドネシアという国に大半が属するが、この名は「インドの島々」という意味である。

北アメリカ大陸ではアメリカ合衆国が独立戦争を勝ち抜いて建国されたが、その初期の首都はフィラデルフィアであった。しかし自立的な<sup>(e)</sup>13の州からなる連邦の首都がペンシルヴェニアという一つの州の都市であるのは平等性に欠けるので、中立的な新しい地を首都にすることになった。その際、メリーランド州と

ヴァージニア州が中間にある約 16 キロメートル四方の正方形の土地を合衆国政府に譲渡し、この地を新首都とすることにしたが、この地はコロンビア地区と名づけられた。「コロンビア」というのはコロンブスにちなんでいる。そして都市の名を、初代大統領の名をとってワシントンとした。コロンブス、ワシントン両者の名を持った首都ということで議会の満場一致の承認が得られたという。まもなくこの地は連邦議会の直接管轄下のコロンビア特別区とされた。アメリカの首都がワシントン D.C. と示される場合があるが、この D.C. とは District of Columbia、コロンビア特別区のことである。独立達成時にアメリカはイギリスからミシシッピ川以東のルイジアナを獲得したが、この「ルイジアナ」の語はフランスの <sup>①</sup>ルイ 14 世にちなみ、「ルイ王のもの」を表す Louisiane であり、その発音はルイジアンヌであった。ところでミシシッピ川以西のルイジアナであるが、こちらはスペイン領となっており、そのスペイン語の綴りは Luisiana で、発音はルイジアナである。やがてこの地はナポレオンがフランス領とし、これをアメリカが 19 世紀はじめに買収した。アメリカはこの地の <sup>つづ</sup>綴りをフランス語・スペイン語両者をあわせて Louisiana とした。発音はルイジアナであるが、最後の「ナ」は、英語独特の発音である「ナ」と「ヌ」の間である。アメリカはこのルイジアナを皮切りに、<sup>⑧</sup>領土を大拡張させていき、次々に新しい州を設けていったが、その間に <sup>⑨</sup>先住民（インディアン）の地を征服し、圧迫していった。その過程を反映して、州の名には先住民の言語が起源であるものが非常に多い。アラバマ、アリゾナ、コネティカットなど、全体の半数以上にも及ぶ。

話は変わって、ユダヤ人にまつわる地名を追ってみる。『旧約聖書』によると、メソポタミアを追われ、荒野を旅して、現在のパレスチナであるカナーンにたどりついたのはアブラハム率いる一行であったが、彼らはヘブライ人と呼ばれるようになった。この「ヘブライ」という語句はエベル（eber）すなわち「向こう側」という言葉がもとになっており、ユーフラテス川の向こう側から来た人々、の意味でそう呼ばれたらしい。しかし彼らは自身のことをイスラエル人と称した。のちに彼らは王国を建て、ダヴィデ王、ソロモン王時代に繁栄したが、その後、北のイスラエル王国と南のユダ王国に分裂した。イスラエル王国はアッシリアに、ユダ王国は新バビロニアに滅ぼされ、後者の住民は「バビロン捕囚」の憂き目を

みた。この捕囚を機に、彼らのことをユダヤ人と呼ぶことが一般化し、今日に至る。やがてローマの支配下に置かれた彼らはしばしばローマに反抗し、紀元 70 年に敗れてパレスチナを追われ、離散（ディアスポラ）の開始となった。離散後の彼らが受けた迫害はだれもが知るところである。彼らの望みはイエルサレムの神殿のもとに帰り、自身の国を建てることであった。ヘブライ語でイエル（yeru）は「町（基礎）」を、サレム（shalayim）は平和を表す。つまり平和の町である。現在この地が、激しく対立する勢力同士が暮らす非常に緊張感に満ちた場になっていることは皮肉である。イエルサレムのなかにある「神殿の丘」と呼ばれるシオン山は、離散中のユダヤ人のあこがれの場であり、その地での建国を目指す運動は①シオニズムと呼ばれた。第二次世界大戦後の 1948 年に彼らは念願の国家樹立をはたすが、この国の名はユダではなくイスラエルであることに注目すべきである。彼ら自身はイスラエル人なのである。

問 1 上の文の内容について述べた次の X・Y・Z の文章の正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。

21

X：東南アジアの大陸部には、インドと中国のあいだの地という意味の呼称が与えられた。

Y：アメリカ合衆国の州の名には、先住民（インディアン）の言語をもとにしたものが多い。

Z：ユダヤ人は、自らをヘブライ人と称した。

- |   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | Z — 正 |
| ② | X — 正 | Y — 正 | Z — 誤 |
| ③ | X — 正 | Y — 誤 | Z — 誤 |
| ④ | X — 誤 | Y — 正 | Z — 正 |
| ⑤ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 正 |
| ⑥ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 誤 |

問2 下線部④で起こったルネサンスについて述べた次の文章中のXとYの正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。 22

【神を中心とする中世のキリスト教的世界観に対して、人間の価値を尊重し、キリスト教以前のギリシア・ローマの文化を探究したのがルネサンスであり、その精神を〔X：啓蒙主義〕（ヒューマニズム）という。この運動は自然の探究にも向けられ、〔Y：トスカネリ〕によって唱えられた地動説は人々に衝撃を与えた。】

- |   |       |       |   |       |       |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

問3 下線部①の航海以降の世界について述べたものとして、誤った文章を、次の①～④から一つ選べ。 23

- ① アメリカ大陸のアステカ王国やインカ帝国が滅亡した。
- ② ヨーロッパに胡椒などの香辛料がはじめてもたらされた。
- ③ ヨーロッパにおける銀の流通量が増加した。
- ④ アメリカ大陸にアフリカの黒人奴隷がもたらされるようになった。

問 4 下線部㉓について述べた次の文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを、  
下の①～④から一つ選べ。 24

【フランスが 1883 ～ 84 年のフエ（ユエ）条約によりベトナムを支配下に置くと、ベトナムに対する宗主権を主張する清が出兵し、清仏戦争となった。その結果、清は〔X：北京条約〕で宗主権を放棄し、フランスのベトナム保護権を承認した。こうしてフランス領インドシナ連邦が成立した。この出来事は、清が日本と日清戦争をおこなった結果、〔Y：下関条約〕で朝鮮に対する宗主権を放棄したことに類似している。】

- |   |       |       |   |       |       |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

問 5 下線部㉔の第二次世界大戦後の状況について述べたものとして正しい文章を、  
次の①～④から一つ選べ。 25

- ① 知識人によりイスラーム同盟（サレカット=イスラム）が結成された。
- ② フランスとの戦争を経て、独立を達成した。
- ③ バンドンでアジア=アフリカ会議が開催された。
- ④ 五・三〇運動を機に、大統領がスカルノからスハルトにかわった。

問 6 下線部㉔は独立以前，イギリスの 13 植民地であった。この 13 植民地が本国と対立して独立戦争に突入し，そして戦争が終結するまでに起こった出来事を時系列に沿って古いものから並べたとき，正しい組合せを次の①～⑥から一つ選べ。

26

- ① 第 1 回大陸会議の開催 → ボストン茶会事件 → 武装中立同盟の結成
- ② 第 1 回大陸会議の開催 → 武装中立同盟の結成 → ボストン茶会事件
- ③ 武装中立同盟の結成 → 第 1 回大陸会議の開催 → ボストン茶会事件
- ④ 武装中立同盟の結成 → ボストン茶会事件 → 第 1 回大陸会議の開催
- ⑤ ボストン茶会事件 → 第 1 回大陸会議の開催 → 武装中立同盟の結成
- ⑥ ボストン茶会事件 → 武装中立同盟の結成 → 第 1 回大陸会議の開催

問 7 下線部㉕について述べたものとして正しい文章を，次の①～⑥から一つ選べ。

27

- ① 「太陽の沈まぬ帝国」を実現した。
- ② 啓蒙専制君主の一人であった。
- ③ オスマン帝国とカルロヴィッツ条約を結んだ。
- ④ ユグノーの信仰の自由を取り消した。
- ⑤ 航海法を制定し，オランダと戦争をおこなった。
- ⑥ フランスを立憲君主国とした。

問 8 下線部⑧に関連して、アメリカは隣国領だったある地域を併合し、そのことがその隣国との戦争のきっかけとなった。この「ある地域」の名（Ⅰ）と、その地図上の位置（Ⅱ）について正しい組合せを、次の①～⑥から一つ選べ。

28

- |   |             |        |
|---|-------------|--------|
| ① | I — カリフォルニア | II — あ |
| ② | I — カリフォルニア | II — い |
| ③ | I — オレゴン    | II — う |
| ④ | I — オレゴン    | II — あ |
| ⑤ | I — テキサス    | II — い |
| ⑥ | I — テキサス    | II — う |



19 世紀半ばの北アメリカ

問9 下線部①に関連して、先住民強制移住法を制定した大統領として正しいものを、次の①～⑥から一つ選べ。

- |         |          |                |
|---------|----------|----------------|
| ① リンカン  | ② ジェファソン | ③ マッキンリー       |
| ④ ジャクソン | ⑤ モンロー   | ⑥ セオドア＝ローズヴェルト |

問10 下線部①の運動を19世紀末に開始したジャーナリストとして正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

- |        |          |
|--------|----------|
| ① ヘルツル | ② ドレフュス  |
| ③ デュナン | ④ ブーランジェ |

**第4問** 儒学の歴史に関して述べた次の文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

春秋戦国時代、諸子百家と呼ばれる思想家群が出現した。そのうち儒家の祖となった孔子は、<sup>(a)</sup> 周（西周）の時代の統治を理想とし、家族愛の社会秩序への拡大、徳治主義を主張した。これに対し法家は、徳ではなく権力を背景にした法の徹底を説き、墨家は、家族愛を差別的な愛と批判し、無差別の愛としての「兼愛」と戦争否定である「非攻」を説いた。他方、老子・荘子の道家は、儒家も墨家も人為的であると否定し、「無為自然」を理想とした（<sup>(b)</sup> 老荘思想）。戦国時代の秦は法家の商鞅の改革により強大化し、やがて秦王政（のちの始皇帝）による全土統一が実現する。<sup>(c)</sup> 始皇帝も丞相に登用した李斯の見解をもとに法家的な統治を展開した。しかし前漢の武帝時代になると、中央集権化がほぼ達成されたことを背景に儒学の影響力が高まり、前漢末までのあいだに儒教にもとづく国家統治という、中国歴代王朝の基本路線が固まった。官学となった以上、經典の整備が不可欠であり、後漢の I らが經典の嚴密な注釈をおこなう訓詁学を大成した。<sup>(d)</sup> 魏晉南北朝時代、特に三国時代から西晋の時期には儒学は不振で、超俗的な清談が流行した。その後、約370年ぶりに中国全土の統一を回復した隋は、均田制・租調庸制・府兵制を施行するとともに新たな官吏登用制度である科挙を創始した。それまでの制度であった九品中正が豪族の門閥貴族化をもたらしたことの反省から、学科試験による官吏登用を始めたのである。その科挙でもっとも重視されたのは儒学の教養であった。隋が短命に終わったあと、一連の制度は次の<sup>(e)</sup> 唐で整備された。科挙の実施のために儒教の經典の充実が必要だったため、太宗は孔穎達らに『五經正義』の編纂を命じた。これは『詩經』、『書經』、『易經』、『春秋』、『礼記』からなる五經に関してそれまでなされていた注に、さらに注釈を加えたもので、ここにおいて五經の解釈は統一された。しかしこれは国家による解釈の固定化でもあって、儒学の発展を阻害することになった。そのような状況への反省の上で、宋（北宋）では儒学が一変した。II が『太極図説』を著して、儒学を宇宙哲学的に再編成し、宋学を開いた。のちに南宋の朱熹はこの新しい儒学を大成した。以降この学問は朱子学と呼ばれることになった。

朱子学では五経にかえて『大学』、『中庸』、『論語』、『孟子』の四書が重視され、「華夷の別」や「大義名分論」が強調された。朱熹が生きた宋代の中国が<sup>(f)</sup> 周辺諸民族の圧迫を受けていたことは、君主と臣下の区別を強調する必要性を与えた。このような態度は統治者にとって有用だったために、以後の諸王朝で尊重された。

<sup>(g)</sup> 朝鮮では官学とされ、日本の江戸幕府も影響を受けた。一方、南宋には朱熹を批判する人物も現れた。それは陸九淵であり、その思想は明代に陽明学として発展することになる。明を開いた朱元璋は朱子学を官学とし、農村の末端まで儒教道徳がいきわたるような統治をおこなった。その明代の半ばに登場したのが陽明学であるが、これは王陽明（王守仁）が陸九淵の「心即理」説に共鳴しておこしたものである。朱子学は知識・理性重視の「性即理」を主張するが、王陽明は人間の心そのものが本質すなわち理であるとする「心即理」を信じ、無学な人でもありのままの心を引き出すことで良い行動を導くことができるとする「知行合一」を唱えた。この説は明の後半期に幅広い支持を受けた。しかし主観的すぎるその思想は現実離れした空論になりやすく、<sup>(h)</sup> 明末清初の学者である Ⅲ は事実にもとづく実証的な研究の必要性を唱えた。清代にはその主張を継いだ考証学が発達した。朱子学・陽明学ともに、諸個人の頭のなかで論を展開しているにとらえ、そうではなく確実な文献を選択して厳密な考証を加えることで儒学の本質にせまることができる、と考える学問であった。こうした学問の態度に対する批判が清末に起こった。それは孔子を革命主義者にとらえ、現実の政治の変革を求める公羊学であり、その実践者である康有為が試みたのが<sup>(i)</sup> 戊戌の変法であった。しかし西太后ら保守派の弾圧にあい（戊戌の政変）、あえなく挫折した。その十数年ののち、清は辛亥革命によって滅亡し、儒学・儒教の社会における価値は減退していった。

問 1 文章中の空欄部 

|   |
|---|
| I |
|---|

 ～ 

|   |
|---|
| Ⅲ |
|---|

 に入る人名として正しい組合せを、  
次の①～⑥から一つ選べ。 

|    |
|----|
| 31 |
|----|

- |          |         |         |
|----------|---------|---------|
| ① I — 鄭玄 | Ⅱ — 司馬光 | Ⅲ — 林則徐 |
| ② I — 鄭玄 | Ⅱ — 周敦頤 | Ⅲ — 顧炎武 |
| ③ I — 班超 | Ⅱ — 司馬光 | Ⅲ — 顧愷之 |
| ④ I — 班超 | Ⅱ — 周敦頤 | Ⅲ — 林則徐 |
| ⑤ I — 劉秀 | Ⅱ — 司馬光 | Ⅲ — 顧炎武 |
| ⑥ I — 劉秀 | Ⅱ — 周敦頤 | Ⅲ — 顧愷之 |

問 2 下線部③において施行された制度として正しいものを、次の①～④から一つ  
選べ。 

|    |
|----|
| 32 |
|----|

- ① 郡国制      ② 州県制      ③ 封建（封建制度）      ④ 郡県制

問 3 下線部④のはのちに成立する道教に影響を及ぼした。道教について述べた次の  
文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。

|    |
|----|
| 33 |
|----|

【道教の源流は、後漢末に起こった黄巾の乱の主力となった〔X：太平道〕  
などである。これに民間信仰や神仙思想、そして老莊思想が融合して道教が成  
立し、〔Y：北魏〕の時代に寇謙之によって大成された。】

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問 4 下線部㉔に関連して、始皇帝がおこなったことについて述べたものとして、誤った文章を、次の①～④から一つ選べ。

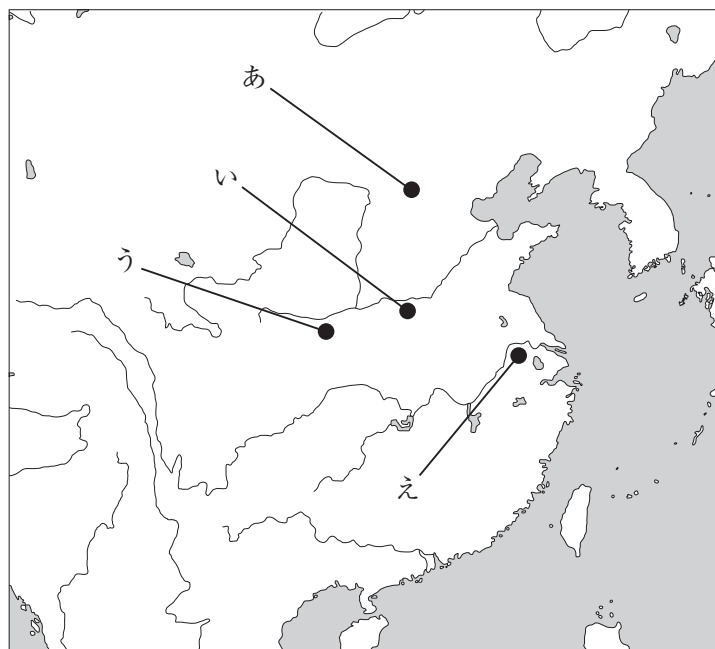
34

- ① 中央集権体制を樹立した。
- ② 冒頓単于率いる匈奴に対し遠征軍を派遣した。
- ③ 長さ、容積、重さの単位を統一した。
- ④ 医薬、占い、農業に関する実用書以外の書物を焼却した。

問 5 下線部㉕の時代、北魏の孝文帝は5世紀末に遷都を実施した。それは地図上のどの都市からどの都市への移動だったのか、正しいものを次の①～④から一つ選べ。

35

- ① あ→い
- ② い→う
- ③ う→え
- ④ え→あ



5世紀末の中国

問 6 下線部㉔について述べた次の X・Y・Z の文章の正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。 36

X：三省・六部の諸機関による分業体制が整備された。

Y：都の長安には、仏教、道教、キリスト教、イスラーム教、ゾロアスター教の寺院が建てられた。

Z：安史の乱後、財政難克服のため、地税と人頭税を一括して銀納させる税制を始めた。

- |   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | Z — 正 |
| ② | X — 正 | Y — 正 | Z — 誤 |
| ③ | X — 正 | Y — 誤 | Z — 誤 |
| ④ | X — 誤 | Y — 正 | Z — 正 |
| ⑤ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 正 |
| ⑥ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 誤 |

問 7 下線部㉕に関連して、宋の周辺にあった国について述べた次の X と Y の文章の正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。 37

X：西夏は漢字をもとにした西夏文字をつくった。

Y：金は北宋の上皇・皇帝を捕虜にした。

- |   |       |       |   |       |       |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

問 8 下線部㉘の朝鮮（朝鮮王朝，李朝）について述べたものとして，誤った文章を，次の①～④から一つ選べ。 38

- ① 科挙が導入されたが，骨品制という身分制のため，受験できる資格が限られていた。
- ② 金属活字による印刷がおこなわれた。
- ③ 今日の朝鮮半島で用いられている朝鮮固有の文字が誕生した。
- ④ 清に服属したが，清以上に中国文化の継承者であるという意識が生じた。

問 9 下線部㉙について述べたものとして正しい文章を，次の①～⑥から一つ選べ。 39

- ① 明では新法党と旧法党との争いで政治が混乱した。
- ② 明は呉三桂の反乱軍に都を攻略されて滅亡した。
- ③ ヌルハチは金（後金）を建国し，軍事・行政組織である千戸制を編制した。
- ④ 鄭成功は日本領であった台湾を占領し，清への抵抗の拠点とした。
- ⑤ 満洲人武将 3 人による三藩の乱が起こったが鎮圧された。
- ⑥ 康熙帝は中国本土と台湾の征服を完成させた。

問10 下線部㉚について述べた次の文章中の X と Y の正誤について正しい組合せを，下の①～④から一つ選べ。 40

【日清戦争で日本に敗北したことに衝撃を受けた知識人らは，政治体制の変革を志し，[X：光緒帝]の支持のもと，[Y：共和政]の樹立を目指した。】

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

**第5問** 「近代ヨーロッパ文明」とロシア・ソ連について述べた次の文章をよく読み、下の問い（問1～10）の答えを解答欄にマークせよ。

① アメリカ独立宣言やフランス人権宣言はいずれも、人間の自由・平等を基本的な人権であると主張した。しかしながら、「自由」と「平等」は互いに矛盾する要素をはらんでいる。「自由」は競争を伴い、勝者と敗者を生んで「不平等」を生むからである。よって近代国家はその両者のバランスの確保に大きな努力を払った。

ところで自由・平等と並んでもう一つ重要な言葉がある。それはフランス人権宣言が打ち出した「私有財産の不可侵」である。この原則は以後のヨーロッパの歴史、ひいては世界の歴史の流れを左右したともいえるだろう。イギリスに始まった産業革命がヨーロッパ大陸諸国に拡大し、ブルジョワと呼ばれた資本家たちが成長していったが、それら資本家たちの資産が保障されてこそ社会の安定が保たれた。一方、大量の労働者も生まれたが、彼らの給与も保障されなければ、いつなんどき暴動が起り破綻に陥るとも限らない。よってヨーロッパの諸国では私有財産の不可侵を保障する法体系を整備していった。しかしながら、貧困と差別的待遇に苦しむ民衆の反発は常につきまとい、諸国は参政権の拡大などを通して、議会制度を発達させながら、彼らを国民として統合していった。こうしてイタリアやドイツの国家的統一も実現し、② 19世紀後半には、アメリカ合衆国も含めてヨーロッパ諸国が国民国家体制を整えた。このような国家体制を生み出した一連の理念や制度を、ある歴史家の表現に従って、「近代ヨーロッパ文明」と呼ぶことにする。その根底にあるのは私有財産の不可侵という原則である。

ヨーロッパ諸国はやがて各々のナショナリズムを高揚させながら、帝国主義的世界分割競争へと突入し、植民地体制を築いていったが、その背後には「進歩史観」があった。つまり自分たちヨーロッパこそが進歩の頂点にある普遍的な文明世界であるという意識であり、遅れた地域の人々を文明化させることが自分たちの使命であると考えた。国内の貧しい労働者層もそれを信じて植民地拡大を支持し、③ 植民地もしくは列強の圧迫に直面した地域の人々すら、自分たちは「遅れている」と思い込み、ヨーロッパへ「追いつく」ことが目標となった。こうして

「近代ヨーロッパ文明」は世界へ拡大したのである。ただし、そうしたヨーロッパ内部に一つの重要な流れがあった。政治的平等すなわち自由主義のみならず、経済的平等つまりは社会主義を主張する一群が存在し続けた。この主張はのちに新たな展開を生み出すことになる。

第一次世界大戦後、国力を大きく後退させたイギリスと対照的にアメリカは、  
④ フォードシステムをはじめとする大量生産・大量消費社会を実現させて大衆社会をつくりだし、「近代ヨーロッパ文明」の中心的な継承者となった。他方、その他の地域では深刻な問題が生じた。⑤ 新しく独立した東欧諸国の多くでは権威主義体制が成立し、国民の権利は制限されていった。イタリアではファシズムが成立し、複数政党制や議会制が放棄され、職場あるいは職種を基準に住民を強制的に団体に編成し、それぞれの利害を国家が調停することになった。

第一次世界大戦中にはまた、社会主義政権の誕生という、世界史上の大きな転換点が訪れた。ソヴィエト＝ロシア（のちにソ連に発展）の成立である。レーニン率いるボリシェヴィキは政権獲得後、ロシア共産党と改称し、決定的な一歩を踏み出した。それまでのヨーロッパの社会主義勢力は、議会制民主主義のなかで私有財産の不可侵の原則に立つ主張をおこなってきたが、ロシア共産党は私有財産を否定し、社会的所有制にもとづく新社会の創出を目指した。このことは「近代ヨーロッパ文明」の本質の拒絶であった。しかしロシア共産党の考え方によれば、「近代ヨーロッパ文明」との断絶ではなく、その完成なのであった。というのも、彼らは従来の「近代ヨーロッパ文明」が解決できなかった貧困や不平等を解消できると考えた。私有財産制は富裕者のみを利するのであって、民衆にはその恩恵がごく限られると考え、社会的所有制によってのみはじめて不平等が決定的に解消されると主張した。ロシア革命が起こるまでの⑥ 帝政ロシアは、産業革命すら緩慢であり、ブルジョワ層の成長も不徹底で、19世紀後半になってようやく農奴解放令が出され、憲法の制定にいたっては⑦ 日露戦争敗北後の20世紀初頭であった。このようにロシアは「近代ヨーロッパ文明」のなかの辺境であった。その遅れたロシアが一挙に「近代ヨーロッパ文明」の最先端へ躍り出た、というのがロシア共産党の意識なのであった。このような考え方は世界中の共産主義者の支持を得た。1929年から始まる世界恐慌とほぼ時を同じくして、スター

リン治下のソ連は五か年計画を開始して社会主義国家体制を確立するが、計画経済に立脚するその体制は世界恐慌の影響をさほど受けずに発展し続けるという外面を持ったために、その社会主義への評価も高まった。同時期、ドイツではヒトラー率いる<sup>⑧</sup>ナチ党（ナチス）の独裁体制が成立し、ヨーロッパの秩序は破壊へと向かった。やがて第二次世界大戦が起り、独ソ戦が展開されたが、ソ連はドイツ打倒に決定的な役割をはたした。

第二次世界大戦後、東西冷戦が進行したが、これは資本主義対社会主義の対立であると同時に、民主主義に関する解釈の対立でもあった。一方は「私有財産の不可侵」の原則を堅持することこそ民主主義と考えるアメリカから西側であり、もう一方は、「私有財産の不可侵」を放棄したからこそ民主主義を完全に実現したと自認する<sup>⑨</sup>ソ連ら東側であった。しかしながらソ連は社会を国家統制のもとに置くとともに、反対者を容赦なく弾圧し、大量粛清もおこなった。その犠牲者は莫大な数にのぼった。言論の自由を封じるなど国民の権利の抑圧も甚だしく、何より経済の国家管理体制のもとでは技術革新が起りにくかった。結局、最終的に破綻してソ連は消滅するに至った。その実態は「近代ヨーロッパ文明」の本質から遠く離れていたと言わざるをえなかった。一方、本来の「近代ヨーロッパ文明」に立脚したアメリカ・西ヨーロッパ・日本であるが、これらはかつて「遅れた」地域に対する植民地支配をおこなったことを忘れてはならない。そしてこれら諸国は<sup>⑩</sup>石油危機をきっかけとして新自由主義改革へ突き進んでいったが、市場経済と競争原理に全面的に立脚するこの路線は、情報技術（IT）産業の急激な発展に伴って超巨大な富裕層を生む一方、庶民の没落を促し、現在は想像を絶するほどの所得格差をもたらしているし、各国内部における社会分断を生じさせている。「近代ヨーロッパ文明」に対する再評価が必要なかもしれない。

問 1 下線部④に関連して、アメリカ独立革命とフランス革命について述べた次の X と Y の文章の正誤について正しい組合せを、下の①～④から一つ選べ。

41

X：アメリカ独立戦争に際し、フランス・スペインはアメリカ側を支援した。

Y：フランス革命に際し、イギリスは革命軍への支援をおこなった。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問 2 下線部⑤に関連して、19 世紀後半の欧米諸国について述べたものとして正しい文章を、次の①～④から一つ選べ。

42

- ① 南北戦争後のアメリカでは、黒人に対する差別が全面的に解消された。
- ② 青年イタリアのマッツィーニによって、イタリア王国が樹立された。
- ③ 統一達成後のドイツでは、皇帝ヴィルヘルム 2 世が三国同盟を結んだ。
- ④ 第二帝政下のフランスは、インドシナ出兵など積極的な対外政策を進めた。

問 3 下線部③において、独立運動、改革運動、抵抗運動などに努めた人物として、誤ったものを、次の①～⑥から一つ選べ。

43

- |              |           |          |
|--------------|-----------|----------|
| ① ファン=ボイ=チャウ | ② ホセ=リサール | ③ アフガーニー |
| ④ アギナルド      | ⑤ スタンリー   | ⑥ ウラービー  |

問 4 下線部①に関して，1920年代のアメリカについて述べたものとして，  
誤った文章を，次の①～④から一つ選べ。

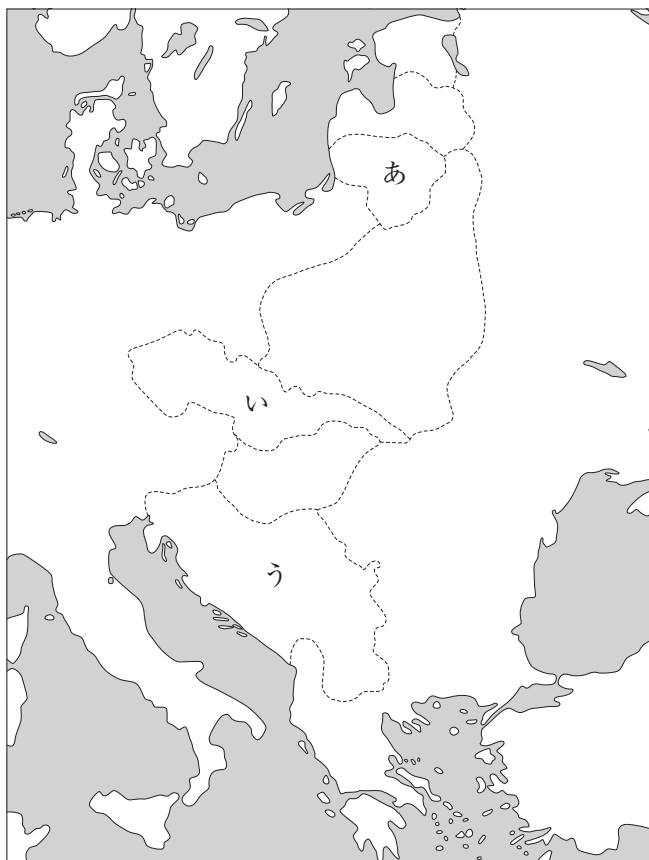
44

- ① 国際連盟に参加しなかったが，ヨーロッパの安定に寄与した。
- ② 日本人らアジア系の人々の移住を促進した。
- ③ 女性参政権が実現した。
- ④ 映画・スポーツ観戦が人気を博した。

問 5 下線部㉔の国々の名 (Ⅰ) と、その地図上の位置 (Ⅱ) について正しい組合せを、次の①～⑥から一つ選べ。

45

- |   |               |       |
|---|---------------|-------|
| ① | Ⅰ — リトアニア     | Ⅱ — あ |
| ② | Ⅰ — ポーランド     | Ⅱ — い |
| ③ | Ⅰ — ハンガリー     | Ⅱ — う |
| ④ | Ⅰ — ユーゴスラヴィア  | Ⅱ — あ |
| ⑤ | Ⅰ — フィンランド    | Ⅱ — い |
| ⑥ | Ⅰ — チェコスロヴァキア | Ⅱ — う |



第一次世界大戦後の東ヨーロッパ

問 6 下線部①の諸皇帝について述べた次の X・Y・Z の文章の正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。

46

X：ピョートル 1 世は三十年戦争の結果、バルト海沿岸地方を獲得した。

Y：アレクサンドル 1 世はプロイセンとともにポーランドを分割した。

Z：ニコライ 2 世はクリミア戦争を開始した。

- ① X — 正      Y — 正      Z — 正
- ② X — 正      Y — 正      Z — 誤
- ③ X — 正      Y — 誤      Z — 誤
- ④ X — 誤      Y — 正      Z — 正
- ⑤ X — 誤      Y — 誤      Z — 正
- ⑥ X — 誤      Y — 誤      Z — 誤

問 7 下線部⑧より前の出来事として正しいものを、次の①～④から一つ選べ。

47

- ① サライエヴォ事件      ② 英露協定の成立
- ③ 甲午農民戦争      ④ 日本による韓国併合

問 8 下線部⑨について述べたものとして、誤った文章を、次の①～④から一つ選べ。

48

- ① 人種差別主義の政策を進めた。
- ② 国民の娯楽を徹底して抑制した。
- ③ 公共事業を大規模におこなって失業者を減少させた。
- ④ 秘密警察により反政府活動を弾圧した。

問 9 下線部①が第二次世界大戦後におこった行動を時系列に沿って古いものから並べたとき、正しい組合せを次の①～⑥から一つ選べ。 

|    |
|----|
| 49 |
|----|

- ① アフガニスタン侵攻開始 → 部分的核実験禁止条約の調印 → 「プラハの春」の弾圧
- ② アフガニスタン侵攻開始 → 「プラハの春」の弾圧 → 部分的核実験禁止条約の調印
- ③ 部分的核実験禁止条約の調印 → 「プラハの春」の弾圧 → アフガニスタン侵攻開始
- ④ 部分的核実験禁止条約の調印 → アフガニスタン侵攻開始 → 「プラハの春」の弾圧
- ⑤ 「プラハの春」の弾圧 → 部分的核実験禁止条約の調印 → アフガニスタン侵攻開始
- ⑥ 「プラハの春」の弾圧 → アフガニスタン侵攻開始 → 部分的核実験禁止条約の調印

問10 下線部①について述べた次の文章中のX・Y・Zの正誤について正しい組合せを、下の①～⑥から一つ選べ。

50

【1973年に〔X：第4次中東戦争〕が起こると、石油輸出国機構（OPEC）およびアラブ石油輸出国機構（OAPEC）が、イスラエル支援国に対する石油戦略を発動したために原油価格が高騰し、第1次石油危機（オイル＝ショック）が起こった。これに危機感をいだいた諸国は1975年から〔Y：先進国首脳会議（サミット）〕を開催することになった。1979年には、イラン＝イスラーム革命が起こり、最高指導者となった〔Z：モサデグ（モサッデグ）〕が欧米系石油企業を追放して原油生産を国有化したことから第2次石油危機（オイル＝ショック）となった。】

- |   |       |       |       |
|---|-------|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | Z — 正 |
| ② | X — 正 | Y — 正 | Z — 誤 |
| ③ | X — 正 | Y — 誤 | Z — 誤 |
| ④ | X — 誤 | Y — 正 | Z — 正 |
| ⑤ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 正 |
| ⑥ | X — 誤 | Y — 誤 | Z — 誤 |

# 日本史

**第1問** 日本における建築物・建造物の歴史を記した文章A～Cを読み、下の問い（問1～9）の答えを解答欄に記入せよ。

A 縄文時代の大規模な集落遺跡である青森県の ア では大型の掘立柱建物が、大規模な環濠集落の遺跡として知られる佐賀県神埼郡の イ では、掘立柱の建物跡などが確認されている。

① 3世紀半ば頃から豪族らによって、前方後円墳をはじめとする古墳が各地に築造されるようになったが、7世紀を迎える頃には権威の象徴が氏寺などに変化していった。

奈良時代には国家事業として大仏の造立、国分寺・国分尼寺の建立が進められ、平安時代初期には密教が広まるなかで、山岳の地に伽藍が営まれた。

② 平安時代中期以降、浄土教の普及を背景に、阿弥陀堂建築が各地にみられるようになった。

問1 ア ・ イ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 51

- |             |           |
|-------------|-----------|
| ① アー 亀ヶ岡遺跡  | イー 菜畑遺跡   |
| ② アー 亀ヶ岡遺跡  | イー 吉野ヶ里遺跡 |
| ③ アー 三内丸山遺跡 | イー 菜畑遺跡   |
| ④ アー 三内丸山遺跡 | イー 吉野ヶ里遺跡 |

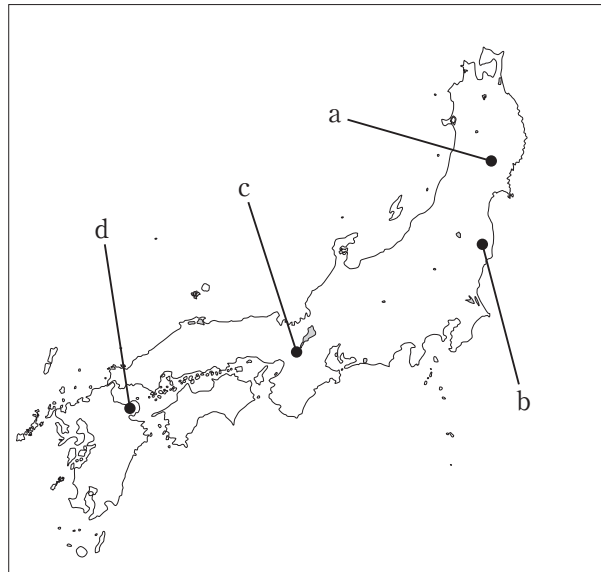
問2 下線部③に関して述べた文章として誤っているものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

52

- ① 現存する法隆寺の建築物のうち，夢殿は厩戸王が建てた当時のものとされている。
- ② 大阪府の大仙陵古墳は，最大の規模をもつ古墳として知られている。
- ③ 蘇我馬子によって建てられた飛鳥寺は，最初の本格的な伽藍をもつ寺院とされている。
- ④ 出現期の最大規模の古墳として，奈良県の箸墓古墳があげられる。

問3 下線部①に関して述べた下の文章X・Yと、次の地図上に示した場所a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

53



X：1052年、当時の関白によってこの地の別荘が寺院とされ、翌年に阿弥陀堂が落成した。

Y：院政期に、地方の豪族によって、この地に富貴寺大堂が建てられた。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — a | Y — b | ② X — a | Y — d |
| ③ X — c | Y — b | ④ X — c | Y — d |

B 鎌倉文化を代表する建築物として、㉔大仏様の東大寺南大門，禅宗様の円覚寺舍利殿があげられる。ただし，現在の円覚寺舍利殿は室町時代の建物で，別の寺院にあったものを移建したという説が有力とされている。

室町文化期には㉕足利義満によって金閣，足利義政によって銀閣が建てられた。金閣は寝殿造・和様・禅宗様の3層で構成された，諸文化の融合を象徴する建築物，銀閣は住宅風の様式・禅宗様の2層で構成される建築物である。

織田信長や豊臣秀吉の時代を中心とする㉖桃山文化は，城郭建築がその象徴とされている。16世紀後半から17世紀初頭にかけて，天下人や大名によって，平山城や平城など多くの城郭が築かれた。

問4 下線部㉔に関連して，東大寺南大門の左右に立つ彫刻の名称として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。

54

- |           |          |
|-----------|----------|
| ① 不空絹索観音像 | ② 阿弥陀如来像 |
| ③ 執金剛神像   | ④ 金剛力士像  |

問 5 下線部㉔に関連して、足利義満・足利義政に関して述べた次の文章 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 55

X：足利義満のもとで整備された五山・十刹の制では、京都のこの寺院が五山の上に位置づけられた。

Y：足利義政のまわりには、花道・茶道など、芸能に秀でた人々が多く集められ、文化の隆盛に貢献した。

a：南禅寺              b：大徳寺  
c：奉公衆            d：同朋衆

- ① X－a      Y－c              ② X－a      Y－d  
③ X－b      Y－c              ④ X－b      Y－d

問 6 下線部㉔に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 56

- ① 演劇では、竹本義太夫が大坂に人形浄瑠璃の竹本座を創設した。  
② 越後の鈴木牧之が『北越雪譜』によって、雪国の自然や生活を紹介した。  
③ 民衆の間に、堺の高三隆達がうたいはじめた隆達節が流行した。  
④ 中山みきを教祖とする天理教など、民衆宗教が生まれた。

C 寛永文化期には、日光東照宮をはじめとする霊廟建築が流行し、神社の建築には、本殿と拝殿の間を相の間で結び、エ字形に連ねた **ウ** が広く用いられた。一方、八条宮智仁親王の別荘である桂離宮や、後水尾上皇の別荘である修学院離宮は、**エ** の建築物として知られる。

明治政府は殖産興業政策の一環として工部省を設立し、工部省のもとで設立された工部大学校では、イギリス人建築家コンドルが指導にあたった。コンドルが設計した建築物として、ニコライ堂や、<sup>①</sup>条約改正交渉を有利に行うため、日比谷に建てられた鹿鳴館などがあげられる。コンドルに学んだ **オ** は、日本銀行本店、東京駅などの設計・施工を行った。

問7 **ウ** ・ **エ** に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 **57**

- ① ウー 神明造      エー 大社造
- ② ウー 神明造      エー 数寄屋造
- ③ ウー 権現造      エー 大社造
- ④ ウー 権現造      エー 数寄屋造

問8 下線部①に関連して、条約改正交渉に関係する出来事に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 **58**

Ⅰ：寺島宗則がアメリカと交渉し、関税自主権回復の交渉にほぼ成功した。

Ⅱ：玄洋社の一青年に負傷させられた外相が辞任し、交渉が中断した。

Ⅲ：領事裁判権の撤廃などを内容とする、日英通商航海条約が締結された。

- ① ⅠーⅡーⅢ      ② ⅠーⅢーⅡ
- ③ ⅡーⅠーⅢ      ④ ⅡーⅢーⅠ
- ⑤ ⅢーⅠーⅡ      ⑥ ⅢーⅡーⅠ

問 9 



 に入る人名として正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。



- ① 浅井忠      ② 高村光雲      ③ 辰野金吾      ④ 片山東熊

**第2問** 古代の漢詩・和歌に関する文章A・Bを読み、下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。

A 古代の<sup>Ⓐ</sup>貴族や官人には漢詩文の教養が求められ、ア期には『唐大和上東征伝』の作者として知られる淡海三船や、芸亭を開いたイなど、文人官僚が活躍した。

日本古来の和歌は、<sup>Ⓑ</sup>天皇から民衆まで多くの人々によってよまれ、ア期には、『万葉集』が成立した。代表的な歌人として、『万葉集』の編者とする説もある大伴家持があげられる。<sup>Ⓒ</sup>大伴氏はヤマト政権の時代からの有力豪族で、平安時代には淳和天皇の諱の大伴を避けて伴氏と改称した。

問1 下線部<sup>Ⓐ</sup>に関連して、律令制下の貴族や官人に関して述べた次の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。60

X：蔭位の制にもとづき、貴族は位階に対応する官職に任じられた。

Y：官人は、禄などの給与を与えられ、調・庸・雑徭などを免除された。

- |         |       |         |       |
|---------|-------|---------|-------|
| ① X — 正 | Y — 正 | ② X — 正 | Y — 誤 |
| ③ X — 誤 | Y — 正 | ④ X — 誤 | Y — 誤 |

問2 ア・イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。61

- |            |          |
|------------|----------|
| ① ア — 白鳳文化 | イ — 石上宅嗣 |
| ② ア — 白鳳文化 | イ — 菅野真道 |
| ③ ア — 天平文化 | イ — 石上宅嗣 |
| ④ ア — 天平文化 | イ — 菅野真道 |

問3 下線部㉑に関連して、古代の天皇に関わる出来事に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

62

Ⅰ：大臣の地位にある人物によって天皇が暗殺されたあと、女性天皇が即位した。

Ⅱ：重祚した女性天皇が、法王に任じられた僧とともに仏教政治を展開した。

Ⅲ：戦乱に勝利した皇子が、飛鳥浄御原宮で天皇として即位した。

- |             |             |
|-------------|-------------|
| ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ | ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ |
| ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ | ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ |
| ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ | ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ |

問4 下線部㉒に関連して、大伴氏や伴氏に関して述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

63

- ① 大伴金村は、朝鮮半島への政策をめぐって勢力を失った。
- ② 承和の変によって、伴健岑が失脚した。
- ③ 応天門の変によって、伴善男が失脚した。
- ④ 大伴家持の父にあたる大伴旅人は、藤原純友の乱を鎮圧した。

B 平安遷都から9世紀末頃までの文化は、弘仁・貞観文化とよばれる。弘仁・貞観文化期には、<sup>④</sup>嵯峨天皇の時代を中心に、文芸を中心として国家の繁栄をめざす文章経国の思想が広まるなかで、宮廷では漢文学が隆盛をきわめた。中国の歴史・文学を学ぶ紀伝道（文章道）がさかんになり、大学の学問が重視されるなかで、和気氏の ウ など大学別曹が設けられ、『 エ 』などの勅撰漢詩文集が編まれた。

10世紀に入ると、<sup>⑤</sup>醍醐天皇のもとで、最初の勅撰和歌集である『古今和歌集』が編まれた。<sup>⑥</sup>国風文化期に和歌が発達した背景には、9世紀後半までにか  
な文字が人々に共有され、広く使われるようになったことがあったと考えられて  
いる。

問5 下線部④に関連して、嵯峨天皇の時代の出来事として正しいものを、次の①  
～④のうちから一つ選べ。 64

- |             |               |
|-------------|---------------|
| ① 乾元大宝の鑄造   | ② 延喜の莊園整理令の発令 |
| ③ 恵美押勝の乱の発生 | ④ 平城太上天皇の変の発生 |

問6 ウ ・ エ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④  
のうちから一つ選べ。 65

- |         |       |
|---------|-------|
| ① ウー学館院 | エー凌雲集 |
| ② ウー学館院 | エー性霊集 |
| ③ ウー弘文院 | エー凌雲集 |
| ④ ウー弘文院 | エー性霊集 |

問7 下線部㉔に関連して、醍醐天皇の時代の政策や出来事に関して述べた次の文章X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

66

X：六国史の最後に数えられる歴史書が編纂された。

Y：この人物の策謀によって、菅原道真が政界から追放された。

a：『日本三代実録』

b：『日本文徳天皇実録』

c：藤原忠平

d：藤原時平

- ① X — a      Y — c      ② X — a      Y — d  
③ X — b      Y — c      ④ X — b      Y — d

問8 下線部㉕に関連して、国風文化期の信仰に関して述べた次の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

67

X：神を本体とし、仏を仮の姿とする本地垂迹説が浸透した。

Y：御霊信仰が広まり、御霊会がさかんにもよおされた。

- ① X — 正      Y — 正      ② X — 正      Y — 誤  
③ X — 誤      Y — 正      ④ X — 誤      Y — 誤

**第3問** モンゴル襲来と鎌倉幕府の支配体制に関する文章A，中世の東北地方に関する文章Bを読み，下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお，史料は一部省略したり，書き改めたりしたところもある。

A 13世紀後半の<sup>a</sup>モンゴル襲来の前後には農業の発展がみられるなど，社会経済には新たな動きがみられた。一方で，<sup>b</sup>文永の役や弘安の役は，鎌倉幕府の支配体制にさまざまな影響をもたらした。

幕府はモンゴル襲来を通じて，西国一帯に支配を強め，九州の博多には北条氏一門を **ア** として送り，全国の守護の半分以上を北条氏一門が占めるようになった。**イ** の勢力が強まるなかで，御内人と御家人との対立が激化した。

各地に<sup>c</sup>新興武士が台頭したこともあって，鎌倉幕府の支配体制は動揺していった。

問1 下線部<sup>a</sup>に関して述べた次の文章X・Yと，それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを，下の①～④のうちから一つ選べ。 **68**

X：畿内や西国では，同一の田畑で複数の作物が栽培されるようになった。

Y：肥料が広く使用されるようになり，山野の重要性が強まった。

a：二毛作              b：三毛作  
c：干鰯                d：刈敷

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ① X－a      Y－c | ② X－a      Y－d |
| ③ X－b      Y－c | ④ X－b      Y－d |

問2 下線部①に関して述べた次の文章X・Yについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 69

X：文永の役では、防塁によって、元軍が博多湾岸に上陸するのを阻むことができた。

Y：弘安の役では、旧南宋の軍も加わった元軍が、博多湾をめざした。

- |   |       |       |   |       |       |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

問3 ア・イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 70

- |   |          |        |
|---|----------|--------|
| ① | ア — 鎮西探題 | イ — 管領 |
| ② | ア — 鎮西探題 | イ — 得宗 |
| ③ | ア — 鎮西奉行 | イ — 管領 |
| ④ | ア — 鎮西奉行 | イ — 得宗 |

問4 下線部㉔に関連して、次の史料に関して述べた文章として誤っているものを、  
下の①～④のうちから一つ選べ。 71

とうていわ 問云ク。諸国<sup>おなじこと</sup>同事ト申ナカラ、当国<sup>もうし</sup>(注1)ハ殊ニ悪党蜂起ノ聞ヘ候。何ノ  
ころ 比ヨリ張行<sup>ちょうぎょう</sup>(注2)候ケルヤラム。

こたえていわく 答云。……正安・乾元<sup>しょうあん けんげん</sup>(注3)ノ比ヨリ、目ニ余リ耳ニ満テ聞ヘ候シ。

所々ノ乱妨、浦々ノ海賊<sup>よせとり</sup>、寄取<sup>よせとり</sup>(注4)、強盗、山賊、追落<sup>おちおち</sup>(注5)シヒマ無ク、  
異類異形ナルアリサマ、人倫ニ異ナリ、柿<sup>かき</sup>維<sup>かた</sup>(注6)ニ六方笠<sup>ろっぽうがさ</sup>(注7)ヲ着テ、  
烏帽子・袴<sup>えぼし はかま</sup>ヲ着ス、人ニ面ヲ合セス、忍<sup>しのび</sup>タル体ニテ、数ス不具<sup>かず</sup>(注8)ナル  
(竹矢龍) 高シコ<sup>(柄鞘)(禿)</sup>(注9)ヲ負ヒ、ツカサヤハケタル太刀ヲハキ、竹ナカエサイハウ<sup>(長柄)(撮棒)</sup>(注10)  
杖ハカリニテ、鎧腹巻<sup>よろいはらまき</sup>(注11)等ヲ着マテノ兵具更ニ無シ。カ、ル類<sup>たぐい</sup>十人二  
十人、或<sup>あるい</sup>ハ城ニ籠リ、寄手<sup>よせて</sup>ニ加ハリ、或ハ引入<sup>ひようぐ</sup>(注12)・返り忠<sup>ちゆう</sup>(注13)ヲ旨ト  
シテ、更ニ約諾<sup>やくだく</sup>(注14)ヲ本トセス。博打・博エキ<sup>もくち</sup>(注15)ヲ好テ、忍ヒ小盗ヲ  
業トス。<sup>(武士カ)</sup>武方ノ沙汰、守護ノ制禁ニモカ、ハラス、日ヲ逐テ倍増ス。

(『峰相記』)

(注1) 当国：播磨国。

(注2) 張行：わがもの顔にふるまう。

(注3) 正安・乾元：1299～1303年。

(注4) 寄取：負債取りたて名義人の活動。

(注5) 追落：往来した人を追いかけ、落とした財布などを奪うこと。

(注6) 柿維：柿色に染めた一重の着物。

(注7) 六方笠：女性がかぶった笠。

(注8) 不具：そろわないこと。

(注9) 高シコ：竹筒でつくった矢の容器。

(注10) サイハウ：長い木でつくった棒で、鋌などを打って武器とした。

(注11) 鎧腹巻：歩兵用の小型の鎧。

(注12) 引入：裏切りをして敵を城の中に導き入れること。

(注13) 返り忠：主君にそむくこと。

(注 14) 約諾：約束して承諾したこと。

(注 15) 博エキ：囲碁・双六など勝負を争う遊戯の総称。

- ① 悪党の活動は、14 世紀を迎える頃に活発化した。
- ② 悪党の姿は、普通の人間と異なっていた。
- ③ 悪党は、鎧をまとうなど武装重装備の集団であった。
- ④ 悪党は、幕府による取締りの対象とされていた。

B 1083 年に清原氏の内紛が始まり、陸奥守であった源義家がこれに介入して、1087 年、藤原（清原）清衡を助けて、④ 後三年合戦とよばれるこの戦乱を制圧した。後三年合戦ののち、藤原清衡をはじめ、奥州藤原氏は平泉を拠点に独自の文化を繁栄させたが、⑤ 12 世紀後半には源頼朝が藤原泰衡を滅ぼし、東北地方を支配下に置くようになった。

⑥ 中世の武家政権のもとでの東北地方の統治機関として、鎌倉幕府の地方機関である ウ，室町幕府の地方機関である奥州探題・羽州探題があげられる。

戦国時代の東北地方では、小規模な国人がひしめきあっていたが、やがて エ が有力大名に成長した。 エ のもとでは分国法の『塵芥集』が制定された。

問 5 下線部④に関連して、東北地方で後三年合戦が展開されていた時期の出来事として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 72

- ① 鳥羽法皇が死去し、その直後に保元の乱が起こった。
- ② 平治の乱で平清盛が勝利し、源頼朝が伊豆に配流された。
- ③ 堀河天皇に譲位した白河上皇によって、院政が開始された。
- ④ 後三条天皇が即位し、記録荘園券契所が設けられた。

問6 下線部㉔に関連して、12世紀後半の出来事に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 73

Ⅰ：藤原成親や俊寛が平氏打倒をはかり、失敗する事件が起こった。

Ⅱ：後白河上皇を武力で支えた平清盛が、太政大臣に任じられた。

Ⅲ：平重衡によって、南都寺院が焼打ちされた。

① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ      ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ

③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ      ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ

⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ      ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

問7 下線部㉕に関連して、鎌倉幕府・室町幕府が基本法とした御成敗式目の条文の一部として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 74

① 文武弓馬ノ道，専ラ相嗜ムベキ事。

② 其の子無きの女人等，所領を養子に譲り与ふる事，不易の法勝計すべからず。

③ 惣別分限あらん者，一乗谷へ引越，郷村には代官計り置かるべき事。

④ 天子諸芸能の事，第一御学問也。

問8 ウ・エに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 75

① ウ — 陸奥將軍府      エ — 伊達氏

② ウ — 陸奥將軍府      エ — 長宗我部氏

③ ウ — 奥州総奉行      エ — 伊達氏

④ ウ — 奥州総奉行      エ — 長宗我部氏

**第4問** 近世の同業団体と為政者の対応に関する文章A・Bを読み、下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお、史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。

A 戦国大名のなかには、商品流通をさかんにするために楽市令を出す者もあった。

織田信長が1567年に美濃 ア に出した楽市令などが知られている。

江戸幕府も当初は同様の政策を展開し、<sup>㉔</sup>糸割符仲間や金座・銀座など、特殊な同業団体以外は容認しない方針をとった。

17世紀後半に イ によって東廻り海運、西廻り海運が整備されて<sup>㉕</sup>全国市場が確立し、海運が活発になるなか、江戸の ウ など、問屋仲間の連合組織がつくられると、幕府はこれらを黙認した。

問1 ア に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

76

- ① 加納      ② 坊津      ③ 敦賀      ④ 桑名

問2 下線部④に関連して、糸割符制度や糸割符仲間、金座・銀座に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 77

- ① 南蛮貿易を展開するオランダ商人の利益独占の排除のため、糸割符制度が創設された。
- ② 幕府は17世紀初頭に、京都・堺・長崎の特定の商人らに糸割符仲間をつくらせた。
- ③ 金座では、徳川家康のもとで元文小判などが鑄造された。
- ④ 銀座では、秤量貨幣の南鐐二朱銀などが鑄造された。

問3 イ・ウに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。78

- ① イー河村瑞賢      ウー十組問屋
- ② イー河村瑞賢      ウー二十四組問屋
- ③ イー角倉了以      ウー十組問屋
- ④ イー角倉了以      ウー二十四組問屋

問4 下線部①に関連して、全国市場や全国市場の確立を背景に発達した卸売市場に関して述べた次の文章X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。79

X：全国市場が成立するなかで、民間の商品も活発に取引された。

Y：各地で発達した卸売市場のうち、大坂のこの地には魚市場が形成された。

a：納屋物              b：蔵物  
c：雑喉場              d：天満

- ① Xーa      Yーc              ② Xーa      Yーd
- ③ Xーb      Yーc              ④ Xーb      Yーd

B 幕藩体制のもとでは、幕府や<sup>㉔</sup>大名をはじめ、支配者層の武士階級は都市で消費生活を送ったため、年貢米を売却・換金する必要性が生じた。

米価安・諸色高といった物価動向が幕藩領主らの財政を悪化させるなかで、<sup>㉕</sup>享保の改革では物価対策が大きな課題となり、物価を引き下げることなどを目的として、商人や職人が株仲間をつくることが認められた。18世紀後半の<sup>㉖</sup>田沼時代には、運上・冥加の増収などを目的に株仲間の結成が奨励されたが、天保の改革では<sup>㉗</sup>株仲間の解散が命じられた。

問5 下線部㉔に関連して、江戸時代の大名に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

80

Ⅰ：米沢藩の上杉治憲のもとで、藩校の興譲館が再興された。

Ⅱ：佐賀藩の鍋島直正が、均田法を実施し、本百姓体制の再建をはかった。

Ⅲ：加賀藩の前田綱紀が、儒者の木下順庵らを招いて学問を振興させた。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ① I — II — III | ② I — III — II |
| ③ II — I — III | ④ II — III — I |
| ⑤ III — I — II | ⑥ III — II — I |

問6 下線部㉕に関連して、武蔵の川崎宿の名主であったが、享保の改革時に徳川吉宗に登用されて民政に業績をあげたこと、『民間省要』を著したことで知られる人物の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

81

- |        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| ① 大岡忠相 | ② 田中丘隅 | ③ 荻生徂徠 | ④ 室鳩巢 |
|--------|--------|--------|-------|

問7 下線部㉔に関連して、田沼意次の政策に影響を与えた『赤蝦夷風説考』の著者の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

82

- ① 伊能忠敬      ② 間宮林蔵      ③ 近藤重蔵      ④ 工藤平助

問 8 下線部①に関する次の史料に関して述べた下の文章 X・Y について、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

83

菱垣廻船積問屋共より是迄年々冥加上納金致し来り候処、問屋共不正の趣  
(注1) も相聞え候ニ付、以来上納ニ及ばず候。尤、向後(注2) 右仲間株札ハ  
勿論、此外共都て問屋仲間 并 組合杯と唱候儀は、相成らず候間其段申し渡  
さるべく候。

一、右ニ付てハ、是迄右船ニ積み来り候諸品ハ勿論、都て何国より出候何品に  
ても、素人直売買(注3) 勝手次第たるべく候。且又諸家国産類(注4)、其外惣  
て江戸表江相廻し候品ニも、問屋ニ限らず、銘々出入のもの共引き受け、売  
捌候義も是又勝手次第候間、其段申し渡さるべく候。

(天保十二年) 十二月

(『天保法制』)

(注1) 不正の趣：買い占め、売りおしみなどで不当な利益を得ていることをさす。

(注2) 向後：以後。

(注3) 素人直売買：仲間に入っていない一般商人、在郷商人の直接取引。

(注4) 諸家国産類：諸藩の国産品。

X：不正を行ってきた株仲間に対して、冥加金を上納すればその罪を許すとしている。

Y：一般商人の取引や、問屋以外の商人が商品を売りさばくことを認めている。

- |   |       |       |   |       |       |
|---|-------|-------|---|-------|-------|
| ① | X — 正 | Y — 正 | ② | X — 正 | Y — 誤 |
| ③ | X — 誤 | Y — 正 | ④ | X — 誤 | Y — 誤 |

**第5問** 後藤新平に関する文章A・Bを読み、下の問い（問1～9）の答えを解答欄に記入せよ。

A 1857年、現在の岩手県に生まれた後藤新平は、医師になる道を選択し、1881年に愛知医学校長兼病院長に就任した。翌年、岐阜で襲撃されて負傷した自由党の総裁<sup>a</sup>板垣退助の手当を行った。

1883年には<sup>b</sup>内務省に入って衛生行政に従事し、1890年代には<sup>c</sup>ドイツに留学した。1892年に帰国して内務省衛生局長に就任し、<sup>d</sup>日清戦争を経て、1898年からは ア の民政局長を務めた。

問1 下線部<sup>a</sup>に関連して、板垣退助に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 84

- ① 大蔵卿として日本銀行の設立に関わった。
- ② 開拓次官として屯田兵制度を建議した。
- ③ 明治六年の政変で下野した。
- ④ 明治十四年の政変で下野した。

問2 下線部<sup>b</sup>に関連して、内務省に関わる出来事に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 85

Ⅰ：内務省・農林省を中心に、農山漁村経済更生運動が推進された。

Ⅱ：内務省の主催により、第1回内国勸業博覧会が開催された。

Ⅲ：内務省を中心に、地方改良運動が推進された。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ      ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ
- ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ      ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ
- ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ      ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問3 下線部㉓に関連して、明治期に制定された法に影響を与えたドイツ人や、法の制定に関わったドイツ人の名前として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

86

- ① グナイスト      ② モッセ
- ③ ロエスレル      ④ ボアソナード

問4 下線部㉔に関連して、明治政府による日清戦争後の政策に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

87

- ① 貨幣法を制定し、金本位制を採用した。
- ② 新貨条例を定め、十進法を採用した。
- ③ アメリカの制度にならい、国立銀行条例を公布した。
- ④ インフレーションを抑制するため、金融緊急措置令を公布した。

問5 アに入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

88

- ① 統監府      ② 朝鮮総督府      ③ 関東都督府      ④ 台湾総督府

B 日露戦争の講和条約であるポーツマス条約では、ロシアは清からの旅順・大連の租借権、以南の鉄道とその付属の利権を日本に譲渡することが規定された。ロシアから譲渡された・旅順間の旧東清鉄道や、鉄道沿線の炭鉱などの経営にあたる南満洲鉄道株式会社の設立に際し、1906年、後藤はその総裁に就任した。首相、兄玉源太郎参謀長らと会見した後藤は、当初満鉄総裁の就任を辞退したが、兄玉の説得に応じて最終的に受諾した。

1908年、<sup>㉔</sup>満鉄を通信省の管轄下に置くことを条件に満鉄総裁から第2次桂太  
郎内閣の通信大臣となり、鉄道の国有化政策にもとづき鉄道院が創設されると、  
その総裁も兼任した。

1916年には<sup>㉕</sup>寺内正毅内閣の内務大臣兼鉄道院総裁、1918年には同内閣の外務大臣となったが、内閣は米騒動後に総辞職した。

1923年に関東大震災が発生し、が組織されると、後藤は内相として入閣し、帝都復興院総裁も兼任した。

問6 ・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① イー奉天      ウー西園寺公望
- ② イー奉天      ウー加藤友三郎
- ③ イー長春      ウー西園寺公望
- ④ イー長春      ウー加藤友三郎

問7 下線部㉔に関連して、明治期の通信・交通に関して述べた文章として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 1860年代後半に、日本鉄道会社が上野・青森間を全通させた。
- ② 1870年代に、前島密の建議により、郵便制度が発足した。
- ③ 1880年代に、東京・横浜間に電信線が架設された。
- ④ 1900年代に、新橋・神戸間の東海道線が全通した。

問 8 下線部①に関連して、寺内正毅内閣時の政策や出来事に関して述べた次の文章 X・Y と、それに該当する語句 a～d との組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 91

X：北方軍閥の段祺瑞政権に対して行ったこの政策によって、同政権を通じた日本の権益の確保をめざした。

Y：第一次世界大戦中に起こったこの革命を背景に、寺内正毅内閣は、軍を派遣することを決定した。

a：西原借款              b：二十一カ条の要求  
c：辛亥革命              d：ロシア革命

- ① X－a      Y－c              ② X－a      Y－d  
③ X－b      Y－c              ④ X－b      Y－d

問 9 工 に入る語句として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。  
92

- ① 第 1 次山本権兵衛内閣              ② 第 2 次山本権兵衛内閣  
③ 第 1 次若槻礼次郎内閣              ④ 第 2 次若槻礼次郎内閣

**第6問** 第二次世界大戦末期の会談に関する文章A，第二次世界大戦後の教育に関する文章Bを読み，下の問い（問1～8）の答えを解答欄に記入せよ。なお，史料は一部省略したり，書き改めたりしたところもある。

A 第二次世界大戦が長期化していた1943年11月，<sup>a</sup>東京では東条英機内閣のもとで大東亜会議が，エジプトでは連合国首脳によってカイロ会談が開催された。

1945年2月4日から，クリミア半島のヤルタで，連合国首脳の会談が開かれた。会談開催から10日後の14日，日本では，日中戦争開戦時の首相だったアが昭和天皇に対し，「国体護持」のために早期終戦を訴える上奏文を提出した。

イで日本軍とアメリカ軍との戦闘が展開されていた1945年5月にはドイツが降伏し，7月にはベルリン郊外でポツダム会談が開催され，ヨーロッパの戦後処理問題が協議された。アメリカ大統領ウらが参加したこの会談を契機に，アメリカからイギリスに対日方針が提案され，アメリカ・イギリス・中国の名で，日本軍への無条件降伏勧告と日本の戦後処理方針からなるポツダム宣言が発表された。

ポツダム宣言では，「日本国国民ヲ欺瞞シ之ヲシテ世界征服ノ挙ニ出ツルノ過誤ヲ犯サシメタル者ノ権力及勢力ハ，永久ニ除去セラレサルヘカラス」とされた。一方で，「日本国ハ其ノ経済ヲ支持シ且公正ナル実物賠償ノ取立ヲ可能ナラシムルカ如キ産業ヲ維持スルコトヲ許サルヘシ。……日本国ハ将来<sup>b</sup>世界貿易関係ヘノ参加ヲ許サルヘシ」とする規定もあり，日本の経済復興の道が完全に閉ざされていたわけではなかった。

問1 下線部③に関連して、東条英機内閣やカイロ会談に関して述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 93

- ① 東条英機内閣時には、翼賛選挙を経て、翼賛政治会が結成された。
- ② 東条英機内閣は、サイパン島陥落の責任を負うかたちで総辞職した。
- ③ カイロ会談には、フランクリン＝ローズヴェルトやチャーチルらが参加した。
- ④ カイロ会談では、ドイツ降伏後のソ連の対日参戦が決定された。

問2 ア に入る人名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 94

- ① 阿部信行      ② 米内光政      ③ 近衛文麿      ④ 平沼騏一郎

問3 イ ・ ウ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 95

- ① イー ガダルカナル島      ウー ニクソン
- ② イー ガダルカナル島      ウー トルーマン
- ③ イー 沖縄      ウー ニクソン
- ④ イー 沖縄      ウー トルーマン

問 4 下線部①に関連して、第二次世界大戦後の日本の貿易に関わる出来事に関して述べた次の文章Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

96

Ⅰ：日本がO E C D（経済協力開発機構）に加盟した。

Ⅱ：日本がG A T T（関税及び貿易に関する一般協定）に加盟した。

Ⅲ：自動車の対米輸出が急増するなかで、自動車をめぐる日米貿易摩擦が深刻となった。

- |                |                |
|----------------|----------------|
| ① I — II — III | ② I — III — II |
| ③ II — I — III | ④ II — III — I |
| ⑤ III — I — II | ⑥ III — II — I |

B 第二次世界大戦後、<sup>㉔</sup>教育制度の自由主義的改革が課題の一つとされるなかで、1946年3月にアメリカ教育使節団が来日した。その勧告にもとづいて、翌年3月に教育基本法・学校教育法が公布され、4月には6・3・3・4の新学制が発足した。

1948年6月には、<sup>㉕</sup>軍人勅諭などとともに教育勅語の失効・排除が国会で確認され、7月には教育行政の地方分権化がめざされるなかで、都道府県・市町村ごとに公選による教育委員会が設けられた。

<sup>㉖</sup>1950年代には、国家権力強化の動きが加速し、「逆コース」が顕著となった。そうしたなかで、第5次吉田茂内閣時の1954年には「教育二法」が公布されて公立学校教員の政治活動と政治教育が禁じられ、<sup>㉗</sup>鳩山一郎内閣時の1956年には、新教育委員会法によって、教育委員の選出方法が公選制から地方自治体の首長による任命制に切りかえられた。

問5 下線部㉔に関連して、第二次世界大戦後の教育に関して述べた次の文章X・Yと、それに該当する語句a～dとの組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

X：戦争直後の混乱のなかで、新たな教科書が間に合わず、軍国主義を賛美した部分などを扱わない措置をとった教科書が使用された。

Y：民主主義的な教育がめざされるなかで、軍国主義・超国家主義的とみなされた教育科目の授業の停止が指令された。

a：国定教科書              b：墨塗り教科書  
c：修身                      d：唱歌

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| ① X — a      Y — c | ② X — a      Y — d |
| ③ X — b      Y — c | ④ X — b      Y — d |

問 6 下線部㉔に関連して、明六社に参加した洋学者で、軍人勅諭の起草にあたった人物の名として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 98

- ① 西周      ② 島地黙雷      ③ 穂積八束      ④ 津田左右吉

問 7 下線部㉕に関連して、1950 年代前半の政策や出来事に関して述べた文章として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 99

- ① M S A 協定が締結され、自衛隊が発足した。  
② 「血のメーデー事件」を契機に、破壊活動防止法が制定された。  
③ 過度経済力集中排除法が制定され、巨大独占企業の分割が行われた。  
④ 自治体警察が廃止され、都道府県警察からなる国家警察に一本化された。

問 8 下線部㉖に関連して、鳩山一郎内閣時の 1956 年に実現した、国際関係に関わる出来事に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 100

- ① 牛肉・オレンジの輸入自由化を決定した。  
② 国連平和維持活動協力法（P K O 協力法）が成立した。  
③ 日本の国際連合加盟が実現した。  
④ ドル高を是正する協調介入に日本などが合意した。